

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本学術振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札・最低価格落札方式	
契約金額	6,359,898円	
仕様書配布者数	4者(H29:9者、H28:8者)	
契約の件名及び数量	日本学術振興会特別研究員の審査に係る資料出力及び製本作業等請負一式	
契約締結日	平成30年4月12日	
契約の相手方の商号又は名称等	ブルーホップ株式会社	
入札経緯及び結果	平成30年2月22日 入札公告 平成30年3月2日 入札説明会 平成30年3月15日 提案書提出期限 平成30年4月10日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	-
②業務等準備期間の十分な確保	×	-
③公告期間の見直し	○	公告日から提案書受領期限まで20日以上を確保した。また、応札者が一者となった場合には、公告期間の延長又は仕様書の見直し等による調達のやり直しを行う可能性がある旨を、入札説明書に明記した。(スケジュール等の都合上、結果的には調達のやり直しは実施していない。)
④公告周知方法の改善	○	入札公告を本会HPに掲載するとともに、文部科学省のHP上にリンクを設置している。
⑤電子入札システムの導入	×	-
⑥業者等からの聴き取り	×	-
⑦競争参加資格の拡大	×	-
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>本契約は、特別研究員事業の審査に係る資料出力及び製本等の作業を行う業務であり、平成29年度から2年連続の一者応札となった。(平成28年度は2者(うち1者は提案書提出後辞退、平成27年度は3者応札であったが、本業務の外注を開始した平成27年度より同社が落札している。)</p> <p>応札しなかった業者にヒアリングを実施した結果、本業務においては、複数種類の資料を出力、製本し、仕分けをした上で発送するという一連の業務フローがあるため、当該業務フローや、取り扱うデータに含まれる申請、審査情報等の取扱注意情報の管理体制などについて、最初に請け負うこととなった業者がそのノウハウを構築することにより、後年も有利になるという状況が確認された。</p> <p>今後、同様な調達が見込まれる場合には、引き続き一般競争入札を行うこととするが、公告を幅広く周知すると共に複数者が参加できるよう、業務等準備期間の延長等、仕様書等の工夫を検討する。また、スケジュール上可能であれば、一者応札となる場合には公告期間の延長等を検討する。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>一者応札となる場合には公告期間の延長等の調達のやり直しを行うとともに、準備期間を確保した調達スケジュールや、仕様書を可能な限り詳細にする等の工夫を検討されたい。</p> <p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>令和2年度の調達に向けて、調達スケジュールや、仕様書内容について担当課と検討する。また、応札者が一者となる場合には、公告期間の延長等による調達のやり直しを実施する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小長谷 有紀、西島 和三、清水 幹裕、小島 昇、洞田 慎一		